

令和5年度 組織目標

所属部・局 産業経済部

【産業経済部 行動指針】












- 高付加価値化による地域産業の再生に向け、頑張る事業者を全力で支援します
- 世界に選ばれるSDGsな観光地域づくりを進めます
- 農林水産事業者の稼ぐ力を高め、選ばれる農山漁村づくりを進めます

No.	組織目標	ページ
1	観光地の高付加価値化を促進します。	1
2	観光SDGsを推進します。	1
3	観光DXを推進します。	2
4	美食のまちづくりを進めます。	2
5	企業誘致による新たな雇用の場の創出等、魅力ある働く場づくりを進めます。	3
6	サステナビリティ経営への転換に取り組む事業者を支援し、経営環境の改善を促進します。	3
7	創業や事業承継支援を進め、商いを活性化します。	3
8	農地の利用集積・流動化、生産基盤の整備などを進め、生産現場の環境を整えます。	4
9	効果的な有害鳥獣対策の実施と捕獲個体の適正な処理を行います。	4
10	農林水産業が次代へ引き継がれるよう、担い手の確保・育成を図ります。	5
11	ブランド製品の生産拡大や農産物、水産物の品質向上・ブランド化を図り、出荷額を増加します。	5
12	域内流通の促進による地産地消と域外への販路拡大を推進します。	5
13	「農林水産業プラスワンプロジェクト」の展開などにより、多様な経営形態を支援し、農山漁村への定住促進を図ります。	6
14	市民・事業者が安全で安心して暮らし、働ける環境基盤を整備します。	6
15	豊かな自然環境を守る適切な森林管理を推進します。	6
16	農地利用の最適化を推進します。	6

令和5年度 運営目標

運営目標	
<p>【商工観光課】 宮津での観光消費単価・顧客満足度の向上を図るため、宮津市観光戦略に基づき、「1観光地の高付加価値化」「2観光SDGs」「3観光DX」「4美食のまちづくり」の取組みを推進します。</p>	
1	<p>観光地の高付加価値化を促進します。</p> 
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 市内の観光関連事業者等と連携し、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化を行うことにより、観光消費額の向上を図るとともに、観光従事者の賃金・待遇の改善等、労働環境の向上につなげる。</p> <p>【達成すべき指標】 観光消費額：R4：84億円 → R5：109億円</p> <p>【指標を達成するための取組・手段等】 ①市内の観光関連事業者と連携し策定する「地域観光拠点再生計画」に基づく、宿泊施設及び観光関連施設の磨き上げ。 ②地域一体となり観光消費額の最大化を図る観光DX事業の実施。 (詳細は「3観光DXを推進します」に記述)</p>
運営目標	<p>②</p> <p>【施策】 市内の各関係団体や海の京都DMO等と連携を強化するとともに、地域資源やICTの先端技術等の活用による魅力ある観光コンテンツの複数化により、滞在時間の延長を推進し観光客の満足度の向上を図る。</p> <p>【達成すべき指標】 体験プログラム、ツアーの内容が良かった（大変そう思う、そう思う） ：R4年度アンケート割合26% → R5年度アンケート割合35%</p> <p>【指標を達成するための取組・手段等】 ①地域資源を活用した新たな滞在コンテンツの造成・商品化に対する支援を実施する。 ・上宮津地区：造成済みコンテンツの販売促進支援 ・府中地区：「股のぞき一龍万倍体験」を中心としたエリア全体の活性化 ・由良地区：造成済みコンテンツの組み合わせによるツアー商品開発 ・日置、世屋、養老地区：新規コンテンツの造成（3個程度） ②体験コンテンツのより利用しやすい環境づくりとして、「JTB Bokun（体験アクティビティ予約システム）」の活用を推進する。 ③京都観光アカデミー等と連携し、観光業界で求められるスキルや知識を習得できるセミナーへの参加を促進することなどにより、多様な観光ニーズに対応できる人材の育成を図る。</p>
2	<p>観光SDGsを推進します。</p> 
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 GSTC TOP100の取得を目指し、事業者・地域一体となって日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)に基づくインバウンド需要にも対応したサステナブルツーリズムを推進し、世界から選ばれる持続可能な観光地域を実現する。</p> <p>【達成すべき指標】 観光入込客数：R4 2,318千人 → R5 3,205千人 外国人宿泊数：R4 3,907人 → 54,000人 環境率先活動に参画する事業者数：30施設</p> <p>【指標を達成するための取組・手段等】 ・インバウンド受入体制の強化（多言語AIチャットbotの導入など） ・JSTS-Dに基づくツアーガイドの研修、認定制度の導入 ・食品ロス削減、脱プラ行動等の環境率先活動への観光事業者の参画促進</p>

令和5年度 運営目標

3	観光DXを推進します。	      
運営目標	①	<p>【施策】 リアルタイムデータを活用してタイムリーな施策の打ち出しや、より良いサービスを提供し、顧客満足度を高めるとともに、リピート客の増加・客単価の向上により地域の観光消費額の向上に繋げる。</p> <p>【達成すべき指標】 観光消費額：R4：84億円 → R5：109億円</p> <p>【指標を達成するための取組・手段等】</p> <p>①宿泊データ分析システムの導入（参画宿泊施設数：R4年度0軒→R5年度30軒）</p> <p>②Googleビジネスプロフィールの利用推進（参画観光施設数：R4年度0軒→R5年度150軒）</p> <p>③宿泊事業者のPMS導入促進（新規 20施設）</p>
4	美食のまちづくりを進めます。	    
運営目標	①	<p>【施策】 食の質向上と高付加価値化により、食を目的に宮津市を訪れる美食のまちづくりを実現する</p> <p>【達成すべき指標】 食の満足度調査スコア R3：87→R5：95（※アンケート調査による）</p> <p>【指標を達成するための取組・手段等】</p> <p>①大和学園との連携による新メニューの開発・情報発信 メニュー開発数5品（R4実績 看板メニュー2品、アドバイザー派遣による開発7品（3事業者））</p> <p>②観光高付加価値化事業による「ガストロノミーリズム」商品の開発・提供、フェアの開催、既存店舗の魅力・認知度向上 ・ツアー2種類の企画販売</p> <p>③農商ビジネス商談会による地元食材の活用 ・商談成立件数R2年度3件→R5年度10件</p>

令和5年度 運営目標

5	企業誘致による新たな雇用の場の創出等、魅力ある働く場づくりを進めます。	   
運営目標	① <p>【施策】 企業誘致による雇用機会の拡大及び地域経済の活性化を図る。</p> <p>【達成すべき指標】 企業立地件数：R4年度2件→R5年度2件</p> <p>【指標を達成するための取組・手段等】 ①関係機関と連携し、脱炭素産業の集積に向けた誘致活動を実施する。 ②本市の特性を活かし観光分野の企業の立地に向けた誘致活動を実施する。 ③補助制度の改正やワンストップ窓口による関係機関との調整等、立地企業へのサポートを強化する。</p>	
6	サステナビリティ経営への転換に取り組む事業者を支援し、経営環境の改善を促進します。	   
運営目標	① <p>【施策】 商工会議所、ハローワーク、近隣市町等、関係機関・団体と連携し、求人企業と求職者のマッチングを推進するとともに雇用・労働環境の向上を図る。</p> <p>【達成すべき指標】 合同企業説明会内定者数：R元年度13人→R5年度30人</p> <p>【指標を達成するための取組・手段等】 北部7市町連携事業及び京都労働局との雇用対策協定や京都府雇用施策等との連携による各種雇用確保策を実施する。 関係機関と連携し、働き方改革の普及啓発、就業者の育成支援を実施する。 事業者向け物価高騰対策を通じ、経営の合理化、生産性の向上等に取り組む事業者支援を実施する。</p>	
7	創業や事業承継支援を進め、商いを活性化します。	    
運営目標	① <p>【施策】 空き店舗の活用も含めた創業・第二創業等の経済活動を促進するとともに、商工会議所とも連携しながら市内事業所の経営支援や若手経営者・起業を志す人材を育成し、市内産業の活性化を図る。</p> <p>【達成すべき指標】 創業・第二創業件数：R2年度未実施→R5年度10件</p> <p>【指標を達成するための取組・手段等】 ①新たな起業にチャレンジする人材を育成するため、未来天橋塾を開催する。 ②創業等支援補助金等の交付により、創業や事業承継等を支援する。 ③未来天橋塾3年間の実施成果を検証し、第二ステージに向けた仕組みづくりを行う</p>	
運営目標	② <p>【施策】 宿泊、飲食施設の経営や農林漁業体験の提供など、複合経営による所得向上に取り組む農林漁業者を支援</p> <p>【達成すべき指標】 ・農作業体験と農村交流のプログラム参加者数：20人 ・体験農園開園に向けた試行取組を支援：1か所以上【農委連携】</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・観光施策と連携実施する「宮津農旅インターンシップ」を4地区で実施（農村地域の理解と課題を共有するとともに、半農半Xなど新しいライフスタイル・価値を求める人材との関係人口づくり） ・地域の新たな受入体制の構築に向けた取組を支援 ・体験農園の開園に向け、農業委員等と連携し、地域の気運醸成や農園の運営体制の構築などを支援</p>	

令和5年度 運営目標

【農林水産課】	
8	<p>農地の利用集積・流動化、生産基盤の整備などを進め、生産現場の環境を整えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: flex-end; gap: 10px;"> <div style="background-color: #f9c94f; padding: 5px; text-align: center; font-size: 8px;"> 2 集積をゼロに </div> <div style="background-color: #4169e1; padding: 5px; text-align: center; font-size: 8px;"> 14 集の集かさをマキウ </div> <div style="background-color: #76c73a; padding: 5px; text-align: center; font-size: 8px;"> 15 防の集かさもマキウ </div> <div style="background-color: #000080; padding: 5px; text-align: center; font-size: 8px;"> 17 パートナーシップで目標を達成しよう </div> </div>
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 集落において京力農場プランの策定を進め、農地の利用集積や流動化を促進</p> <p>【達成すべき指標】 ・京力農場プランの策定 R4年度末59集落(79%)→R5年度末69集落(92%)</p> <p>【農委連携】 ・地域計画の策定 →R5年度末10計画(18集落)【農委連携】</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・農業委員会委員が集落で積極的に話し合い活動を展開できるよう支援 ・農地の棚卸を推進し、守るべき農地を明確にしながら地域農業の将来のあり方を定めるとともに、農地ごと利用者を明確化する京力農場プランの策定を終え、地域計画の策定にシフトする。</p>
運営目標	<p>②</p> <p>【施策】 農道、農業用水路などの農業生産基盤を整備</p> <p>【達成すべき指標】 R5年度整備完了箇所数：R4年度1箇所 → R5年度7箇所</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 施工箇所の優先順位付けを行い、円滑に地元調整を行いながら、早期に着工、完了を図る。</p>
9	<p>効果的な有害鳥獣対策の実施と捕獲個体の適正な処理を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: flex-end; gap: 10px;"> <div style="background-color: #f9c94f; padding: 5px; text-align: center; font-size: 8px;"> 2 集積をゼロに </div> <div style="background-color: #4169e1; padding: 5px; text-align: center; font-size: 8px;"> 14 集の集かさをマキウ </div> <div style="background-color: #76c73a; padding: 5px; text-align: center; font-size: 8px;"> 15 防の集かさもマキウ </div> <div style="background-color: #000080; padding: 5px; text-align: center; font-size: 8px;"> 17 パートナーシップで目標を達成しよう </div> </div>
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】 ・有害鳥獣の防除・防護・生息環境管理による農作物被害の防止 ・有害鳥獣処理施設に係る適正かつ安定した稼働</p> <p>【達成すべき指標】 ・有害鳥獣被害金額：R4年度5,746千円→R5年度5,171千円(R7年度4,022千円) ・有害鳥獣処理施設の適正かつ、中長期的な安定稼働</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ・防除：猟友会への駆除委託／担い手育成支援／ジビエ活用の推進 ・防護：防護柵の設置支援／防護技術向上の研修会等の開催 ・生息環境管理：集落ぐるみの取組支援 ・有害鳥獣処理施設：適正な運営／中長期的な施設安定稼働に向けた地域との話し合い ・有害鳥獣対策の推進のための猟友会等との勉強会の開催</p>

10	農林水産業が次代へ引き継がれるよう、担い手の確保・育成を図ります。				
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業時における生活支援や技術習得への支援による新規就農者及び新規就漁者の担い手を確保 ・環境保全に取り組む事業者を支援 <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者及び新規就漁者：R4年度3名 → R5年度3名 ・就農計画の参考とするブランド産品等の経営指標の作成 → 2品目 ・環境負荷低減事業活動に取り組む認定事業者 → R5年度25人以上 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営開始資金の活用やサポートチームによる営農指導 ・集落における担い手受入環境の整備支援 ・半農半Xインターンシップの実施（再掲） ・海の民学舎の共同運営による担い手の確保・育成 ・就業時における課題抽出と宮津市への就業支援施策の検討（新規就農者・就漁者等及びその配偶者、農業大学校・林業大学校・海の民学舎卒業生等からヒアリングを実施） ・認定農業者協議会で有機栽培等の勉強会を開催。知識の獲得と意識醸成を支援 ・外部人材の活用による担い手確保スキームの検討 				
11	ブランド産品の生産拡大や農産物、水産物の品質向上・ブランド化を図り、出荷額を増加します。				
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】</p> <p>ブランド産品・特産品の生産拡大と品質の向上（「やまのいも」、「オリーブ」及び育成水産物等の出荷額を増加。新たに「天橋立しょうが」の生産を促進）</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やまのいも」：出荷額の増加 R4年度6,800千円 → R5年度7,200千円 ・育成水産物等：出荷額の増加 R4年度16,972千円(63,452千円) → R5年度34,500千円 ・「天橋立しょうが」生産者数：R5年度8人→R6年度10人 ・「オリーブ」：地域団体商標登録（ブランド化）に向けたNPO法人の設立 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大及び品質向上へ向けた研修の取組を支援 ・「オリーブ」：地域団体商標の管理組織の法人化を支援（R7を目途に商標出願） 				
12	域内流通の促進による地産地消と域外への販路拡大を推進します。				
運営目標	<p>①</p> <p>【施策】</p> <p>地元農産物の販売力強化や市内観光関連施設等への供給など域内流通の促進による地産地消を行うとともに、都市部等への販路拡大による地産外商を推進</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まごころ市組合の売上：R4年度81,400千円 → R5年度85,000千円 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元産志向の旅館等をターゲットに地元産野菜の取引の定着化 ・生産者と卸売事業者間の流通の仕組みづくりを推進 ・農産物集荷便の運用、ふるさと納税返礼品など野菜セットの販売、出張まごころ市などの継続実施 ・域外向け販路拡大の拠点整備の検討 				

13	「農林水産業プラスワンプロジェクト」の展開などにより、多様な経営形態を支援し、農山漁村への定住促進を図ります。	2 目標をゼロに	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう	
運営目標	<p>【施策】 宿泊、飲食施設の経営や農林漁業体験の提供など、複合経営による所得向上に取り組む農林漁業者を支援</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作業体験と農村交流のプログラム参加者数：20人 ・体験農園開園に向けた試行取組を支援：1か所以上【農委連携】 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光施策と連携実施する「宮津農旅インターンシップ」を4地区で実施（農村地域の理解と課題を共有するとともに、半農半Xなど新しいライフスタイル・価値を求める人材との関係人口づくり） ・地域の新たな受入体制の構築に向けた取組を支援 ・体験農園の開園に向け、農業委員等と連携し、地域の気運醸成や農園の運営体制の構築などを支援 					
14	市民・事業者が安全で安心して暮らし、働ける環境基盤を整備します。	6 安全な水とトイレを世界中に	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
運営目標	<p>【施策】 沿岸地域の安全安心を確保する環境整備</p> <p>【達成すべき指標】 海岸保全施設の令和5年度計画分を完了</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 海岸保全施設整備事業について地元調整を円滑に行うとともに、工事施工業者及び施工監理業者と綿密に調整することにより工事を進捗</p>					
15	豊かな自然環境を守る適切な森林管理を推進します。	6 安全な水とトイレを世界中に	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
運営目標	<p>【施策】 森林の持つ多面的機能の維持・発揮のための適切な森林管理</p> <p>【達成すべき指標】 モデル区での取組を実施し手法の確立と長期計画の作成</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 モデル区での地権者調整を円滑に行うとともに、有識者及び委託業者と連携し、経営管理権集積計画を策定</p>					
16	農地利用の最適化を推進します。	2 目標をゼロに	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう	
運営目標	<p>【施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①遊休農地の発生防止・解消 ②担い手への農地利用の集積・集約化の推進 ③新規就農の促進・農業関係人口の増加 <p>【達成すべき指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①非農地判断の実施 4年度1集落→5年度4集落 ②京力農場プランの策定・実質化を推進（再掲） →5年度※指標7-② ③地域計画の策定（再掲） →5年度※指標7-② ④若手農業者の集い開催 R4年度2回 →R5年度2回 ⑤体験農園の検討（再掲） →5年度※指標12-① <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各集落で農地の棚卸（非農地判断、計画等の策定）が円滑に進むよう支援 ・令和5年7月の改選を迎え、新任となる委員を含め、農業委員会委員が集落で積極的に話し合い活動を展開できるよう支援 ・農地を効率的に守る体制・組織の見直しを積極的に支援 ・多様な人材が農業に関われる受皿づくりを集落・関係機関との連携 					